

仕事も家庭も大切 だからワーク・ライフ・バランス



子どもの話をしている笑顔が
すてきな

鈴木美鈴さん
(すずき みすず)

私は、日頃から幼児期の子育てには、愛情たっぷりのスキンシップと沢山のコミュニケーションが大切だと思っています。そのためにも二人の子どもの子育てには少し時間的な「ゆとり」が欲しいと考えるようになりました。そしてフルタイムの勤務から短時間勤務にできないものかと考え、思い切って職場の上司に相談しました。トキハの正社員としては初めての事例だということでしたが、周囲の方々の理解と協力をいただき希望をかなえる事ができました。おかげ様で今仕事をしながらも、心にゆとりを持って子育てができています。子ども達も非常に喜んでいて、日々周囲の方々に感謝しつつ、母親が安定した気持ちで子どもに接することの大切さも実感しています。



誠実でさわやかな印象の

工藤裕康さん
(くどう ひろやす)

株トキハは、働き方の見直しや男性が育児参加しやすい職場風土作りに取組んでいます。そこで、短時間勤務制度や育児休暇制度を利用し充実した仕事生活と家庭生活を過ごしているお二人にお話を伺いました。

私が育児休暇を取ったのは、「出産育児は人生の一大イベント」という思いがあつたからです。それに職場の制度として育児休暇制度があつたことと上司の理解があつたことも取得のきっかけになりました。

私の両親も「育児はみんなでするもの」「妻の産後の体調も大変だから」と私が育児休暇を取ることを応援してくれました。また、職場の同僚たちは、会社で初めての男性の育児休暇取得ということもあり、快く休暇を取らせてくれました。この時、職場のチームワークのありがたさを感じ、同僚に感謝するとともに、育児参加を応援してくれる会社に対しさらに愛着が深くなりました。

赤ちゃんと充実した時間を過ごしたことで、職場に復帰したとき仕事に対するモチベーションが上がっているなど、良い効果が出ました。また、心に余裕が生まれ、周りの人に対しても優しく接することができるようになりました。だから、男性も育児休暇を取って子育てに参加することをお勧めします。